

学習状況および生活・意識調査結果報告

学習状況等調査では、小学校5年生(国語、算数、社会または理科、生活・意識)と中学校2年生(国語、数学、英語、社会または理科、生活・意識)を対象とし、学習指導要領における各教科の目標や内容に照らした学習の習得状況を把握し、自宅での学習時間や学習習慣、読書の状況など児童生徒の生活や意識と学習との関わりについても調べました。

今回と昨年度の結果も併せて考察し、学校における指導方法・指導内容の改善に役立てていきます。

調査の詳細な結果については、市ホームページ「学校教育」でご覧になれます。

問い合わせ 学校教育課 ☎38-2087



学習状況について

国語・算数・数学・英語・理科は、おおむね良好

本調査では、学習指導要領に基づき、ここまでできてほしいという「目標値」を設け、どれだけの子供生徒がその目標を達成できたかを「達成率」とし、その達成率で分析を行いました。達成率が60%超で、「おおむね良好」と考えています。

なお、参考までに同じ時期に行われた他地区の調査結果も全国平均として併記します。

小学校の状況 達成率：%

	芦屋市		全国平均
	16年度(15年度)	16年度(15年度)	16年度(15年度)
国語	80.7(87.0)	69.5(76.8)	69.5(76.8)
社会	64.7(71.4)	64.1(75.0)	64.1(75.0)
算数	71.1(64.2)	58.0(57.6)	58.0(57.6)
理科	65.9(71.3)	73.0(74.3)	73.0(74.3)

中学校の社会を除き、達成率は60%を上回っています。全国と比較をしますと、小学校の国語、算数は全国を大きく上回っており、中学校の国語・数学・英語・理科も全国をやや上回る結果でした。すなわち、国語・算数・数学・英語・理科については、おおむね良好な結果であるといえます。とくに、算数・英語は、昨年度より5ポイント程度上回る結果となっています。

中学校の社会については、「好き嫌い」「理解度」とともに肯定的な回答が全国を下回っていることから、課題が残ると思われる。

中学校の状況 達成率：%

	芦屋市		全国平均
	16年度(15年度)	16年度(15年度)	16年度(15年度)
国語	63.5(65.3)	61.8(61.9)	61.8(61.9)
社会	51.6(66.5)	63.7(66.2)	63.7(66.2)
数学	66.9(66.4)	60.7(55.4)	60.7(55.4)
理科	66.5(54.1)	67.2(61.7)	67.2(61.7)
英語	65.0(59.5)	61.7(58.9)	61.7(58.9)

生活・意識について

児童生徒の生活や意識と学習との関わりについて、アンケート形式の設定で調査しました。その項目の中から、一部を取り上げます。

読書量 (冊)

	小学校		中学校	
	芦屋(全国)	芦屋(全国)	芦屋(全国)	芦屋(全国)
1カ月に読む本の平均冊数	6.7(6.4)	2.8(3.2)		

1カ月の読書冊数は、全国とほぼ同じ結果ですが、小学校で上回っているのは逆に、中学校では全国を下回っています。

学校以外における1日の学習時間 (分)

	小学校		中学校	
	芦屋(全国)	芦屋(全国)	芦屋(全国)	芦屋(全国)
平均学習時間：平日	104.9(63.4)	81.4(74.5)		
平均学習時間：休日	84.5(49.1)	61.5(62.1)		

小学校の平均学習時間は、平日・休日ともに全国を大きく上回り、学習時間が確保できている様子がうかがえます。

中学校では平日は全国をやや上回っているものの、休日はほぼ全国と同じです。小学校では全国を大きく上回っていたのが、中学校では全国とほぼ同程度の値となっています。

学習状況と生活・意識との関連性

学習状況調査と生活・意識調査の関連を見るため、学習状況調査の平均到達度別にA層(上位33.3%)・B層(中位33.3%)・C層(下位33.3%)の3層に分け、それぞれの層において、生活・意識調査などの回答状況を比較し、その傾向を分析しました。

学習状況と学習時間との関係 (分)

	小学校			中学校		
	A層	B層	C層	A層	B層	C層
平均学習時間：平日	139.2	107.2	67.6	94.5	88.4	61.8
平均学習時間：休日	115.4	86.7	41.1	76.5	68.0	40.2

小中学校ともに学習時間については、学力との相関は高いです。各層の学習時間を見ると、平日休日ともにほとんどしないという児童がA・B層と比較してC層で多くなっています。とくに、A・B層とC層で「ほとんどしなかった」「3時間以上学習している」割合の差が顕著です。1～2時間の学習時間が確保できるかどうかポイントと思われる。

学習状況と強い相関があるもの
 問題解決力：「調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる」など
 学習継続力：「わからないことはそのままにせず、わかるまで努力する」など
 学習のけじめ：「勘違いや思い込みがないか、しっかり見直しをしている」など
 学習に対する基本的な姿勢：「熱心に授業を受けている」「宿題をきちんとやっている」など
 これらは、学力と強い相関があります。小学校・中学校で差の大きい項目が微妙に異なることから、発達段階に応じた指導が必要と考えられます。

今後の取り組み

今回の調査から得られた児童生徒の状況を踏まえて、学ぶ意欲を高めたり、確かな学力を習得させたりすることが重要であると考えます。

そこで、各学校では調査結果で明らかになった成果と課題から、きめ細かな指導をより一層進めるとともに、教師の指導方法の改善など教育活動の向上に向けての具体的な対応を検討していきます。

現在、その一環として「学力向上パワーアッププラン」を検討し、取り組みを進めているところです。「学力向上パワーアッププラン」を推進していく学校としての基本的な考え方や取り組みは、学校教育のホームページで公開する予定にしています。

歴史散歩 67 今も残る戦前の面影 20

三條八幡神社の扁額

問い合わせ 美術博物館 緯385432

これは史上名高い日本海海戦の一幕だが、当時、第一艦隊第三戦隊旗艦笠置艦長であった山屋他人やまや・たにん・一八六六(一九四〇)の存在はあまり知られていない。
 盛岡出身の山屋は海軍大学校で教官歴もあり、その後任であった秋山真之考案とされる丁字戦法の実質的な考案者であるといわれている。
 その山屋の揮毫が、三條町の八幡神社にある。

「本日天気晴朗なれど波高し」の第一報を大本営に打電、旗艦「三笠」以下の連合艦隊を率いた東郷平八郎長官は、対馬沖でバルチック艦隊と激突した。
 昭和五年十月二十六日に大規模な観艦式があり、当日、山屋が出席していた。山屋が出席していたのは、三條の人々が訪ねたのであり、記録は「昭和五年海軍特別大演習観艦式記録」にあたったが指揮官山本英輔中将以下、山屋の名



「八幡宮」扁額 / 山屋他人揮毫(三條町)

前は確認できなかった。扁額については、三條南町の井田氏から情報をいただいた。山屋と三條町との関わりについては今後調査を続けるが、彼の血脈は意外なかたにつながっていることを紹介しておきたい。山屋他人から見れば曾孫にあたるのが雅子皇太子妃殿下である。

seido language institute The school that gets people talking

新設コース
 ●ABCからの英会話(シニア対象)
 ●高校生(中3期)TOEFLコース
 ●ワード/ワー1ボキャブラリー専門コース
 ●進学個別指導コース

目的に応じたコース
 ●英会話集中コース・週2回英会話コース
 ●TOEIC・TOEFL・英検対策講座
 ●幼児小学生クラス・帰国子女クラス
 ●中・高生コース
 ●その他の外国語
 ●語学研修

短期集中コース
 TOEIC・TOEFL 10 Day 集中コース(7/25~8/5(土)日除く)
 一気にスコアアップ!
 12 Day 英会話集中コース(7/25~8/9(土)日除く)
 使える英語を試したい方に、短期留学効果

広告 セイド一外国語学院 〒659-0093 芦屋市船戸町12-6 J 芦屋 阪急芦屋川より徒歩5分
 お問い合わせ:Tel&Fax(0797)22-9452 e-mail: info@seido.net http://www.seido.jp